

【公報種別】特許法第 17 条の 2 の規定による補正の掲載
 【部門区分】第 2 部門第 6 区分
 【発行日】平成 27 年 8 月 20 日 (2015.8.20)

【公表番号】特表 2014-518185 (P2014-518185A)
 【公表日】平成 26 年 7 月 28 日 (2014.7.28)
 【年通号数】公開・登録公報 2014-040
 【出願番号】特願 2014-519062 (P2014-519062)
 【国際特許分類】

B 6 5 B 9/04 (2006.01)

【F I】

B 6 5 B 9/04

【手続補正書】

【提出日】平成 27 年 7 月 3 日 (2015.7.3)

【手続補正 1】

【補正対象書類名】特許請求の範囲

【補正対象項目名】全文

【補正方法】変更

【補正の内容】

【特許請求の範囲】

【請求項 1】

予備形成パウチの膜を膨張した緩衝材ユニットに変換するための機械であって、前記パウチは、遠隔縁から膨張縁より所定の距離以内まで延在する、横シールによって画定され、

前記機械は、

前記膜の進行路を画定するように、前記横シールと前記膨張縁との間に挿入するためのガイドピンと、

前記膜と摩擦係合するための引張デバイスであって、前記引張デバイスは、下流進行中に引っ張られた状態で膜を保持する、引張デバイスと、

前記予備形成パウチの膨張のための膨張配列と、

前記予備形成パウチを閉じて緩衝材ユニットを形成するように前記横シールと交差する、縦シールを提供するように位置付けられる、密閉配列であって、前記密閉配列は、少なくとも 2 つの密閉ベルトを有し、各ベルトが、駆動ローラによって動力供給され、前記膜の表面に係合し、前記膜の両側に位置付けられた密閉要素を通して前記膜を引くように位置付けられる、密閉配列と、

前記密閉要素を通した進行中に、前記膜の 2 つの層を挟持するように位置付けられる、締付配列であって、前記締付配列は、少なくとも 2 つの挟持ベルトを有し、各ベルトが、駆動ローラによって動力供給され、前記膜の表面に係合し、前記密閉要素を通して前記膜を引き、かつ前記膜を挟持するように位置付けられ、前記 2 つの密閉ベルトは、前記 2 つの挟持ベルトと前記膨張縁との間に配置される、締付配列と

を備え、

前記少なくとも 2 つの密閉ベルトおよび前記少なくとも 2 つの圧着ベルトは、同期して駆動される、機械。

【請求項 2】

前記引張デバイスは、

水平部分、および下流の上向きに角度を成す部分を伴う、棚部材と、

前記機械に載置された枢動可能なアームであって、前記アームの一方の端がバネに取り付けられ、ローラが前記アームの他方の端に回転可能に取り付けられる、枢動可能なアームと

を備え、

前記ローラは、前記膜に係合する、請求項 1 に記載の機械。

【請求項 3】

前記ローラは、前記棚部材の前記水平部分に対して前記膜を押勢する、請求項 2 に記載の機械。

【請求項 4】

前記ローラは、前記棚部材の前記上向きに角度を成す部分に対して前記膜を押勢する、請求項 2 に記載の機械。

【請求項 5】

前記ローラは、前記棚部材の前記水平部分および前記上向きに角度を成す部分の交差点で前記膜に係合する、請求項 2 に記載の機械。

【請求項 6】

前記ローラは、前記棚部材の前記水平部分に対して、および前記棚部材の前記上向きに角度を成す部分に対して前記膜を押勢する、請求項 5 に記載の機械。

【請求項 7】

前記棚部材の前記上向きに角度を成す部分は、前記棚部材の前記水平部分に対して鈍角で上向きに延在する、請求項 2 に記載の機械。

【請求項 8】

前記膜は、前記ローラの下で、上方へ、および前記棚部材の前記上向きに角度を成す部分の上で、ならびに前記密閉配列まで直接下流に進行する、請求項 1 に記載の機械。

【請求項 9】

予備形成パウチの膜を膨張した緩衝材ユニットに変換するための機械であって、前記パウチは、遠隔縁から膨張縁より所定の距離以内まで延在する、横シールによって画定され、

前記機械は、

前記膜の進行路を画定するように、前記横シールと前記膨張縁との間に挿入するためのガイドピンと、

前記膜と摩擦係合するための引張デバイスであって、前記引張デバイスは、水平部分、および下流の上向きに角度を成す部分を伴う、棚部材と、前記機械に載置された枢動可能なアームとを有し、前記アームの一方の端がパネに取り付けられ、ローラが前記アームの他方の端に回転可能に取り付けられる、引張デバイスと、

前記予備形成パウチの膨張のための膨張配列と、

前記予備形成パウチを閉じて緩衝材ユニットを形成するように前記横シールと交差する、縦シールを提供するように位置付けられる、密閉配列であって、前記密閉配列は、少なくとも 2 つの密閉ベルトを有し、各ベルトが、駆動ローラによって動力供給され、前記膜の表面に係合し、前記膜の両側に位置付けられた密閉要素を通して前記膜を引くように位置付けられる、密閉配列と、

前記密閉要素を通した進行中に、前記膜の 2 つの層を挟持するように位置付けられる、締付配列と

を備え、

前記引張デバイスは、前記ローラによる前記膜の係合によって、下流進行中に引っ張られた状態で前記膜を保持する、機械。

【請求項 10】

前記締付配列は、少なくとも 2 つの挟持ベルトを有し、各ベルトが、駆動ローラによって動力供給され、前記膜の表面に係合し、前記密閉要素を通して前記膜を引き、かつ前記膜を挟持するように位置付けられる、請求項 9 に記載の機械。

【請求項 11】

前記ローラは、前記棚部材の前記水平部分に対して前記膜を押勢する、請求項 9 に記載の機械。

【請求項 12】

前記ローラは、前記棚部材の前記上向きに角度を成す部分に対して前記膜を押勢する、請求項 9 に記載の機械。

【請求項 13】

前記ローラは、前記棚部材の前記水平部分および前記上向きに角度を成す部分の交差点で前記膜に係合する、請求項 9 に記載の機械。

【請求項 14】

前記ローラは、前記棚部材の前記水平部分に対して、および前記棚部材の前記上向きに角度を成す部分に対して前記膜を押勢する、請求項 13 に記載の機械。

【請求項 15】

前記棚部材の前記上向きに角度を成す部分は、前記棚部材の前記水平部分に対して鈍角で上向きに延在する、請求項 9 に記載の機械。

【請求項 16】

前記膜は、前記ローラの下で、上方へ、および前記棚部材の前記上向きに角度を成す部分の上で、ならびに前記密閉配列まで直接下流に進行する、請求項 9 に記載の機械。

【請求項 17】

予備形成パウチの膜を膨張した緩衝材ユニットに変換するための機械であって、前記パウチは、遠隔縁から膨張縁より所定の距離以内まで延在する、横シールによって画定され、

前記機械は、前記膜と摩擦係合するための引張デバイスを備え、

前記引張デバイスは、水平部分、および下流の上向きに角度を成す部分を伴う、棚部材と、前記機械に載置された枢動可能なアームとを有し、前記アームの一方の端がバネに取り付けられ、ローラが前記アームの他方の端に回転可能に取り付けられ、

前記ローラは、下流進行中に引っ張られた状態で前記膜を保持するように、前記棚部材の前記水平部分に対して、および前記棚部材の前記上向きに角度を成す部分に対して前記膜を押勢する、機械。

【請求項 18】

前記棚部材の前記上向きに角度を成す部分は、前記棚部材の前記水平部分に対して鈍角で上向きに延在する、請求項 17 に記載の機械。

【請求項 19】

前記膜は、前記ローラの下で、上方へ、および前記棚部材の前記上向きに角度を成す部分の上で、ならびに前記密閉配列まで直接下流に進行する、請求項 17 に記載の機械。

【手続補正 2】

【補正対象書類名】明細書

【補正対象項目名】0004

【補正方法】変更

【補正の内容】

【0004】

本明細書で説明されるように、1つ以上の構成要素が、接続される、接合される、添着される、連結される、取り付けられる、または別様に相互接続されるものとして表されるとき、そのような相互接続は、構成要素の間のように直接的であり得るか、または1つ以上の中間構成要素の使用等を通して間接的であり得る。また、本明細書で説明されるように、「部材」、「構成要素」、または「部分」という言及は、単一の構造部材、構成要素、または要素に限定されるものではないが、構成要素、部材、または要素のアセンブリを含むことができる。

本願明細書は、例えば、以下の項目も提供する。

(項目 1)

予備形成パウチの膜を膨張した緩衝材ユニットに変換するための機械であって、前記パウチは、遠隔縁から膨張縁より所定の距離以内まで延在する、横シールによって画定され、

前記膜の進行路を画定するように、前記横シールと前記膨張縁との間に挿入するための

ガイドピンと、

前記膜と摩擦係合するための引張デバイスであって、前記引張デバイスは、下流進行中に引っ張られた状態で膜を保持する、引張デバイスと、

前記予備形成パウチの膨張のための膨張配列と、

前記予備形成パウチを閉じて緩衝材ユニットを形成するように前記横シールと交差する、縦シールを提供するように位置付けられる、密閉配列であって、各ベルトが、駆動ローラによって動力供給され、前記膜の表面に係合し、前記膜の両側に位置付けられた密閉要素を通して前記膜を引くように位置付けられる、少なくとも2つの密閉ベルトを有する、密閉配列と、

前記密閉要素を通した進行中に、前記膜の2つの層を挟持するように位置付けられる、締付配列であって、各ベルトが、駆動ローラによって動力供給され、前記膜の表面に係合し、前記密閉要素を通して前記膜を引き、かつ前記膜を挟持するように位置付けられる、少なくとも2つの挟持ベルトを有する、締付配列と、

を備え、前記少なくとも2つの密閉ベルトおよび少なくとも2つの圧着ベルトは、同期して駆動される、

機械。

(項目2)

前記引張デバイスは、下流進行中に引っ張られた状態で膜を保持し、前記膜を引き裂かない、項目1に記載の機械。

(項目3)

前記引張デバイスは、

水平部分、および下流の上向きに角度を成す部分を伴う、棚部材と、

アームの一方の端がパネに取り付けられ、ローラがアームの他方の端に回転可能に取り付けられる、前記機械に載置される、枢動可能なアームと、

を備え、前記ローラは、前記膜に係合する、

項目1に記載の機械。

(項目4)

前記ローラは、前記棚部材の前記水平部分に対して前記膜を押勢する、項目1に記載の機械。

(項目5)

前記ローラは、前記棚部材の前記上向きに角度を成す部分に対して前記膜を押勢する、項目1に記載の機械。

(項目6)

前記ローラは、前記棚部材の前記水平部分および前記上向きに角度を成す部分の交差点で前記膜に係合する、項目1に記載の機械。

(項目7)

前記ローラは、前記棚部材の前記水平部分に対して、および前記棚部材の前記上向きに角度を成す部分に対して前記膜を押勢する、項目6に記載の機械。

(項目8)

前記引張デバイスは、前記密閉配列に進入すると、引っ張られた状態で前記膜を保持する、項目1に記載の機械。

(項目9)

前記棚部材の前記上向きに角度を成す部分は、前記棚部材の前記水平部分に対して鈍角で上向きに延在する、項目1に記載の機械。

(項目10)

前記膜は、前記ローラの下で、上方へ、および前記棚部材の前記上向きに角度を成す部分の上で、ならびに前記密閉配列まで直接下流に進行する、項目1に記載の機械。

(項目11)

予備形成パウチの膜を膨張した緩衝材ユニットに変換するための機械であって、前記パウチは、遠隔縁から膨張縁より所定の距離以内まで延在する、横シールによって画定され

、
前記膜の進行路を画定するように、前記横シールと前記膨張縁との間に挿入するためのガイドピンと、

前記膜と摩擦係合するための引張デバイスであって、水平部分、および下流の上向きに角度を成す部分を伴う、棚部材と、アームの一方の端がバネに取り付けられ、ローラがアームの他方の端に回転可能に取り付けられる、前記機械に載置される、駆動可能なアームとを有する、引張デバイスと、

前記予備形成パウチの膨張のための膨張配列と、

前記予備形成パウチを閉じて緩衝材ユニットを形成するように前記横シールと交差する、縦シールを提供するように位置付けられる、密閉配列であって、各ベルトが、駆動ローラによって動力供給され、前記膜の表面に係合し、前記膜の両側に位置付けられた密閉要素を通して前記膜を引くように位置付けられる、少なくとも2つの密閉ベルトを有する、密閉配列と、

前記密閉要素を通した進行中に、前記膜の2つの層を挟持するように位置付けられる、締付配列と、

を備え、前記引張デバイスは、前記ローラによる前記膜の係合によって、下流進行中に引っ張られた状態で前記膜を保持する、

機械。

(項目12)

前記締付配列は、各ベルトが、駆動ローラによって動力供給され、前記膜の表面に係合し、前記密閉要素を通して前記膜を引き、かつ前記膜を挟持するように位置付けられる、少なくとも2つの挟持ベルトを有する、項目11に記載の機械。

(項目13)

前記少なくとも2つの密閉ベルトおよび少なくとも2つの圧着ベルトは、同期して駆動される、項目12に記載の機械。

(項目14)

前記ローラは、前記棚部材の前記水平部分に対して前記膜を押勢する、項目11に記載の機械。

(項目15)

前記ローラは、前記棚部材の前記上向きに角度を成す部分に対して前記膜を押勢する、項目11に記載の機械。

(項目16)

前記ローラは、前記棚部材の前記水平部分および前記上向きに角度を成す部分の交差点で前記膜に係合する、項目11に記載の機械。

(項目17)

前記ローラは、前記棚部材の前記水平部分に対して、および前記棚部材の前記上向きに角度を成す部分に対して前記膜を押勢する、項目16に記載の機械。

(項目18)

前記引張デバイスは、前記密閉配列に進入すると、引っ張られた状態で前記膜を保持する、項目11に記載の機械。

(項目19)

前記棚部材の前記上向きに角度を成す部分は、前記棚部材の前記水平部分に対して鈍角で上向きに延在する、項目11に記載の機械。

(項目20)

前記膜は、前記ローラの下で、上方へ、および前記棚部材の前記上向きに角度を成す部分の上で、ならびに前記密閉配列まで直接下流に進行する、項目11に記載の機械。

(項目21)

予備形成パウチの膜を膨張した緩衝材ユニットに変換するための機械であって、前記パウチは、遠隔縁から膨張縁より所定の距離以内まで延在する、横シールによって画定され

、

前記膜と摩擦係合するための引張デバイスであって、水平部分、および下流の上向きに角度を成す部分を伴う、棚部材と、アームの一方の端がバネに取り付けられ、ローラがアームの他方の端に回転可能に取り付けられる、前記機械に載置される、枢動可能なアームとを有する、引張デバイスと、

を備え、前記ローラは、下流進行中に引っ張られた状態で前記膜を保持するように、前記棚部材の前記水平部分に対して、および前記棚部材の前記上向きに角度を成す部分に対して前記膜を押勢する、

機械。

(項目 2 2)

前記棚部材の前記上向きに角度を成す部分は、前記棚部材の前記水平部分に対して鈍角で上向きに延在する、項目 2 1 に記載の機械。

(項目 2 3)

前記膜の進行路を画定するように、前記横シールと前記膨張縁との間に挿入するためのガイドピンと、

前記予備形成パウチの膨張のための膨張配列と、

をさらに備える、項目 2 1 に記載の機械。

(項目 2 4)

前記予備形成パウチを閉じて緩衝材ユニットを形成するように前記横シールと交差する、縦シールを提供するように位置付けられる、密閉配列であって、各ベルトが、駆動ローラによって動力供給され、前記膜の表面に係合し、前記膜の両側に位置付けられた密閉要素を通して前記膜を引くように位置付けられる、少なくとも 2 つの密閉ベルトを有する、密閉配列と、

前記密閉要素を通した進行中に、前記膜の 2 つの層を挾持するように位置付けられる、締付配列と、

をさらに備える、項目 2 1 に記載の機械。

(項目 2 5)

前記引張デバイスは、前記密閉配列に進入すると、引っ張られた状態で前記膜を保持する、項目 2 4 に記載の機械。

(項目 2 6)

前記膜は、前記ローラの下で、上方へ、および前記棚部材の前記上向きに角度を成す部分の上で、ならびに前記密閉配列まで直接下流に進行する、項目 2 4 に記載の機械。

(項目 2 7)

前記締付配列は、各ベルトが、駆動ローラによって動力供給され、前記膜の表面に係合し、前記密閉要素を通して前記膜を引き、かつ前記膜を挾持するように位置付けられる、少なくとも 2 つの挾持ベルトを有する、項目 2 4 に記載の機械。

(項目 2 8)

前記少なくとも 2 つの密閉ベルトおよび少なくとも 2 つの圧着ベルトは、同期して駆動される、項目 2 7 に記載の機械。